



新入生を代表して宣誓する葛西さん㊦（秋田職能短大）

ものづくりのプロに

秋田職能短大 3科に44人が入校

大館市の秋田職業能力開発短期大学校（中村雅英校長）で3日、入校式が行われた。

新入生は3科44人。専門知識と技術の習得を目指し、地域を支える技術者としての第一歩を踏み出した。

新入生は生産技術科9人、電子情報技術科14人、住居環境科21人の計44人。このうち県内出身者は37人。

式では新入生一人一人の名前が呼ばれ、中村校長が入校を許可した。式辞で「本校の特徴は徹底した少人数教育と、実験・実習の時間が長いこと。頭と体で効率よく学習

できることを実感できる」と主張。「皆さんが人間として大きく成長し、2年後に社会、応用課程に巣立っていくことを期待する」と激励した。

来賓祝辞に続き、新入生を代表して住居環境科の葛西一心さん（大館桂桜高出身）が宣誓。「豊かな創造性を身に付けられるように、授業と実践を通して専門の知識を学び、仲間と励まし合っていくと思う。地域とのつながりを大切に、立派な社会人になれるよう成長していく」と決意を述べた。